

フィリピン鉄道訓練センター向けに研修を実施

「鉄道駅舎点検に関する国内での取り組み」の説明等、JICA プロジェクトの一環として

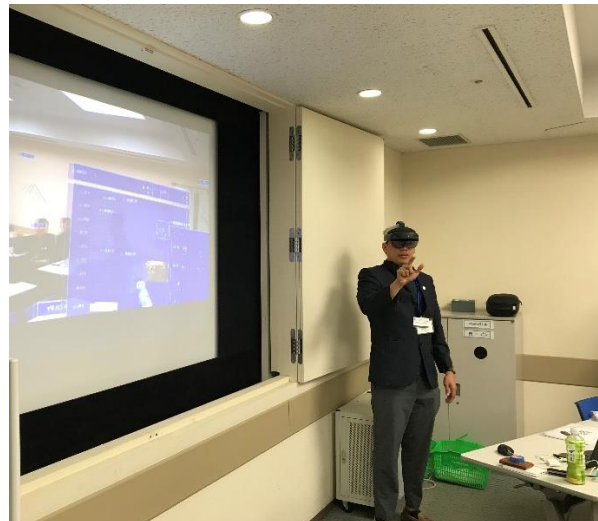
当社は 2024 年 3 月 21 日、来日中のフィリピン鉄道訓練センター（PRI）職員を対象に研修を行いました。

人口急増に伴う交通渋滞の深刻化が著しいフィリピンの首都マニラでは、同国初の地下鉄を含む大型鉄道網の整備等が、独立行政法人国際協力機構（JICA）による支援で進行しています。並行して、鉄道の運営・維持管理体制の強化に向けて、質の高い鉄道人材の育成が急務であり、「[フィリピン鉄道訓練センター設立・運営能力強化支援プロジェクト](#)」として、その柱となる PRI の設立・運営能力強化の支援も行われています。

このたびの研修は、同プロジェクトの一環として来日した PRI の 15 名を対象に行ったものです。「DX Follow up session」として当社が登壇し、「鉄道駅舎点検に関する国内での取り組み」について説明するとともに、「MR 技術活用による、さらなる効率化」を提案しました。

受講者からはいずれにも高い関心が示され、駅舎点検については今後、ディスカッションをさらに深めることとなったほか、MR 技術を活用した駅舎点検のデモンストレーションには積極的な参加がありました。

以上



PRI 職員 15 名を対象にした研修で、「DX Follow up session」を担当しました